

町の経済と財政を考える集い 1月26日

# 箱根町の地域経済と循環構造の 構築にむけて

国際社会科学研究院 池島祥文

**YNU** 横浜国立大学  
YOKOHAMA National University

[www.ynu.ac.jp](http://www.ynu.ac.jp)

February 9, 2018

# 報告内容

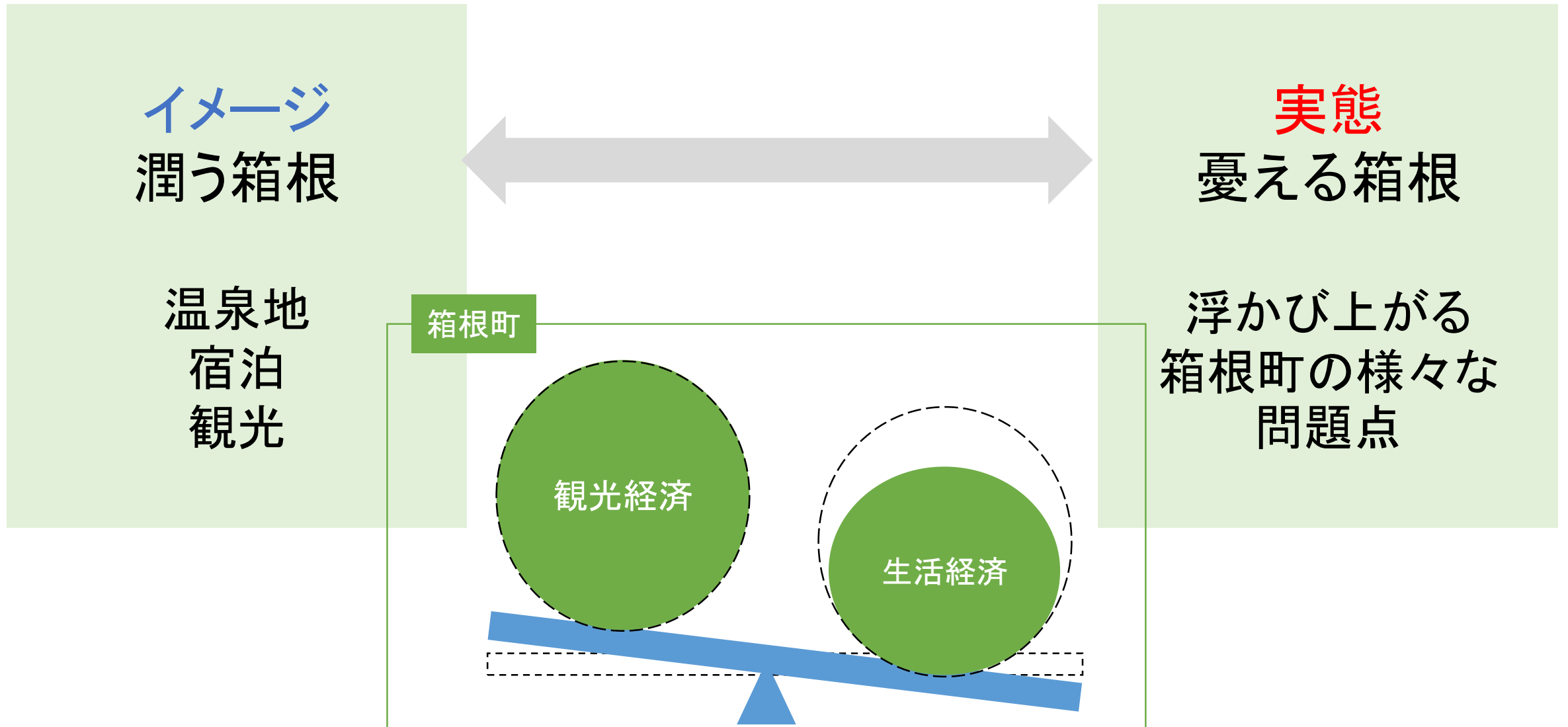
1

箱根町の問題構造

2

問題解消に向けたポイント

# 箱根経済の二重構造



# 潤う箱根

高い財政力指数

地方交付税交付金を受け取っていない！

高い経済循環率

大涌谷などの火山が多く温泉いっぱい！

豊かな自然

土地の90%が国立公園！

全国有数の観光業

観光客年間2000万人！

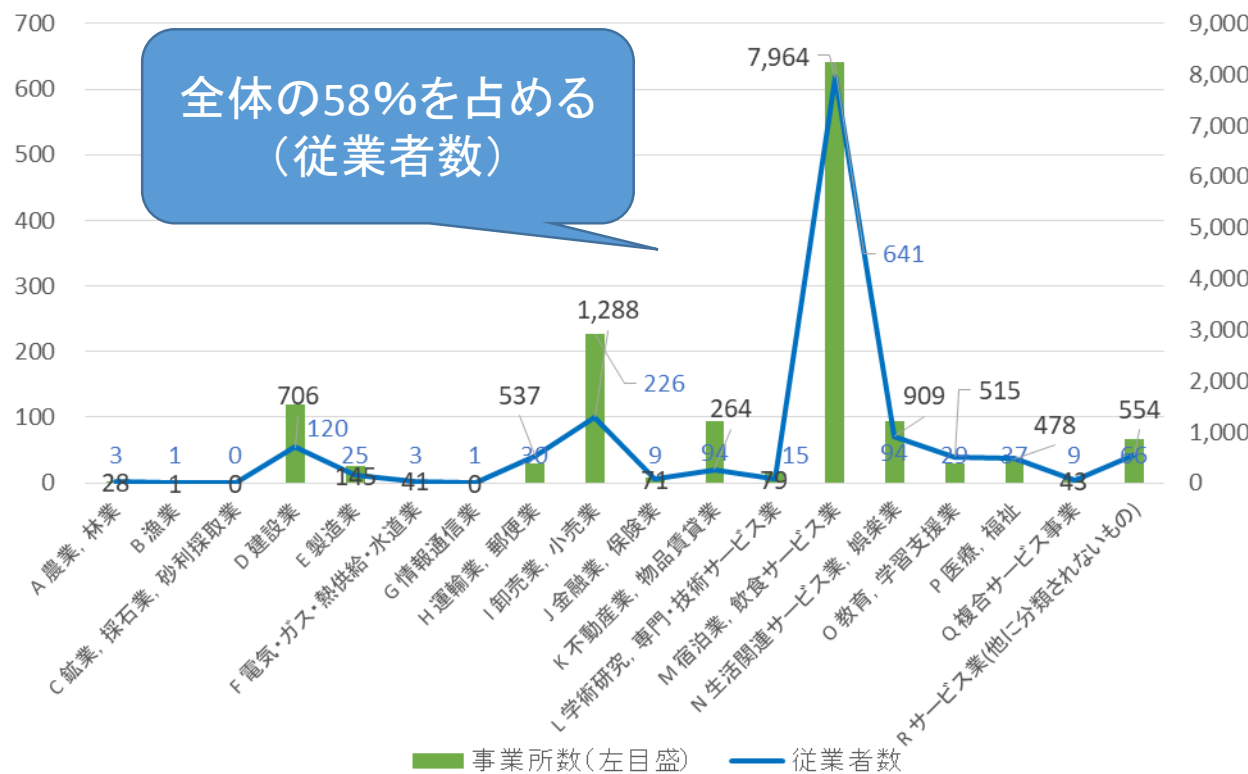
# 箱根町の産業構造

企業数も同様の傾向

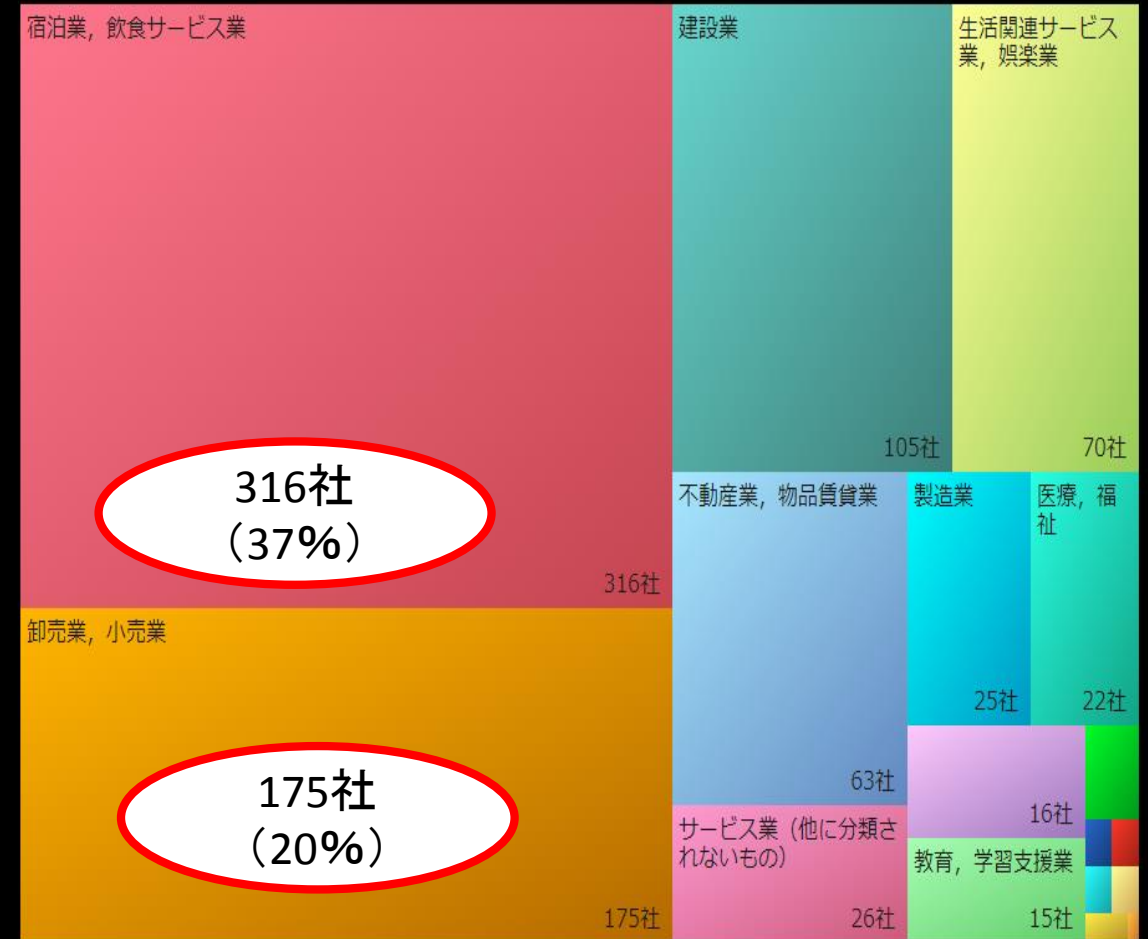
- 飲食店、宿泊業、卸売・小売業、建設業
- 640事業所、約8千人の従業者数

合計843社

産業分類別の事業所数と従業者数



2014年 企業数(企業単位) 大分類  
神奈川県 箱根町



上図以外の企業数(企業単位)の合算：0社

# 箱根町の経済潤環構造

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、**地域経済の自立度**を示す。

地域経済循環率  
**126.0%**

## 地域経済循環図 2013年

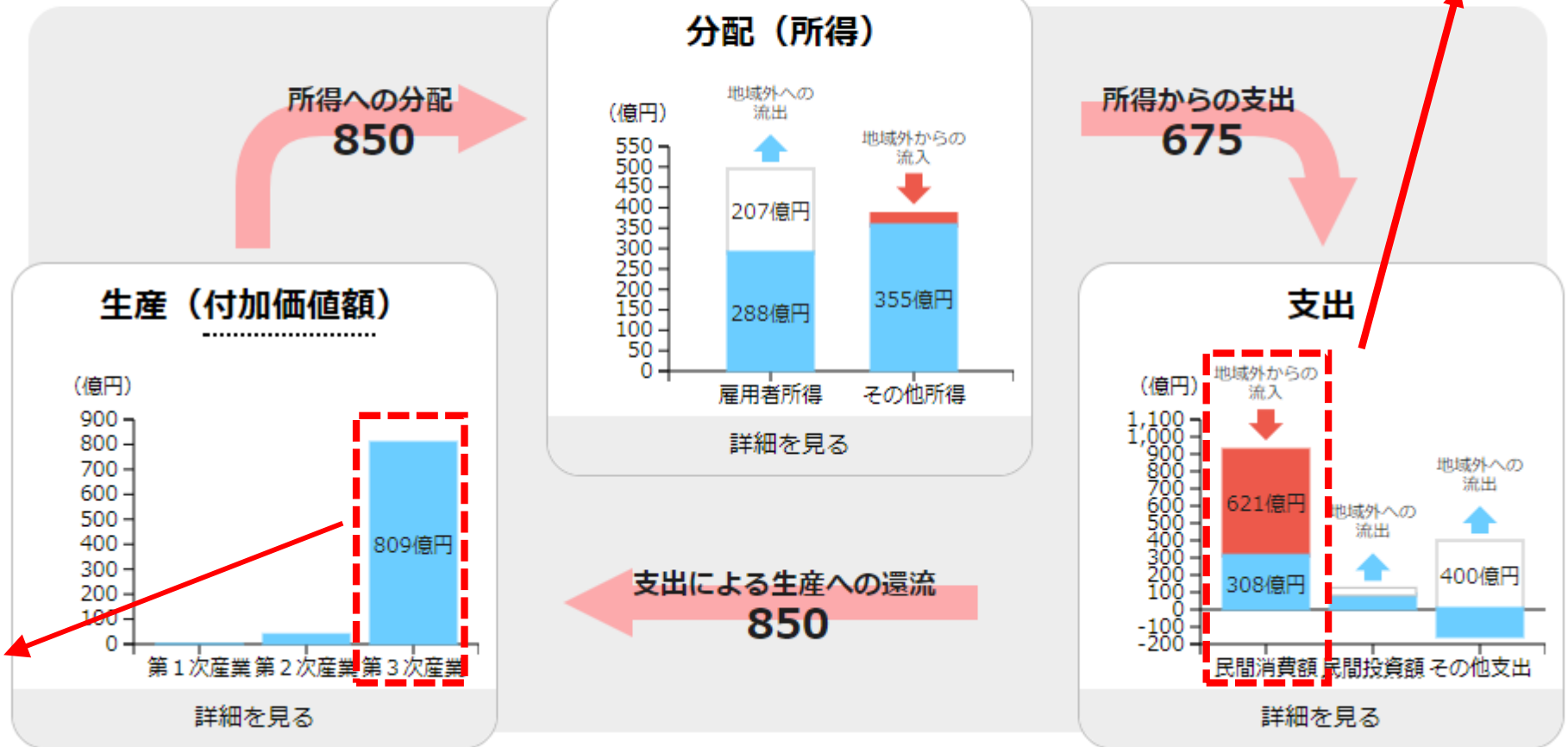
指定地域：神奈川県箱根町

929億円の域内消費  
民間消費の流入額は201%で  
全国2位

値が高いほど他地域から流入する所得に対する依存度が低い

地域において雇用を十分に創出（確保）できていることを示している

観光で約800億円の付加価値を生産できている



# 憂える箱根

定住人口の減少

住民数の割に  
支出がかさむ  
実は財政難

従事者の半  
数以上が域  
外居住

雇用所得の域外流出

町の地理的不利

宿泊客数の伸び悩み

観光客単価が  
高くない

生活コストが  
高い

# 解消されない財源不足

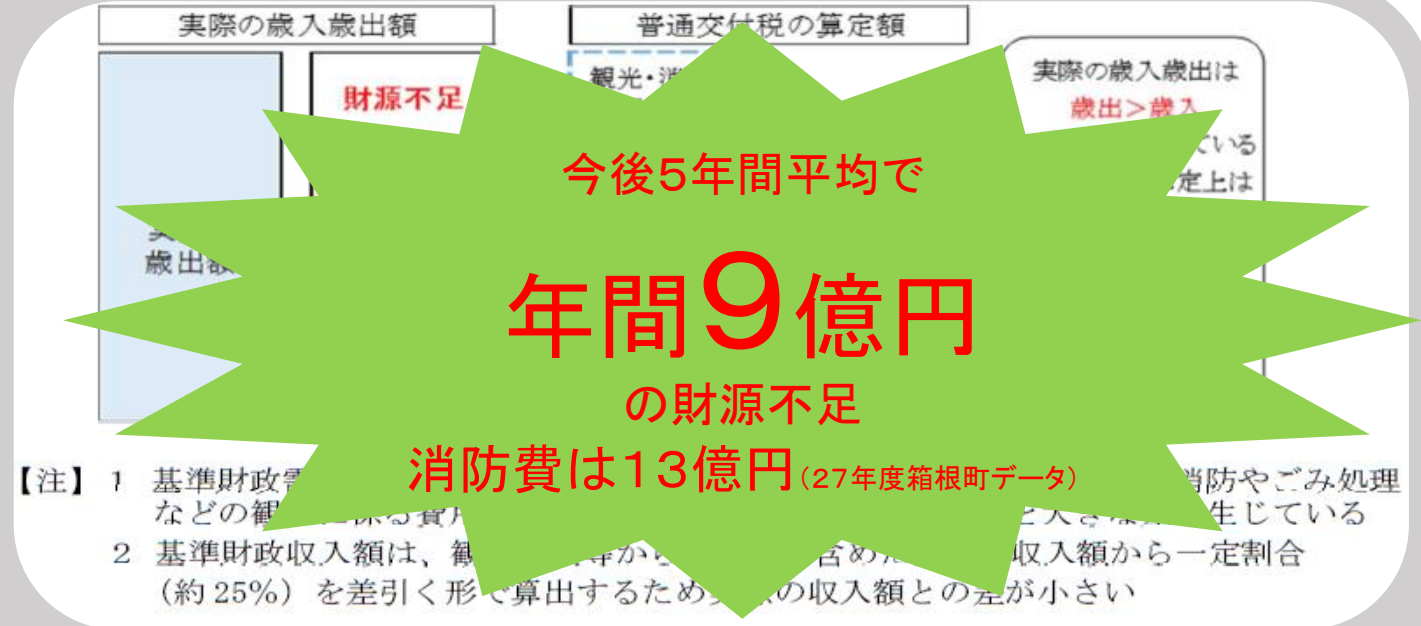
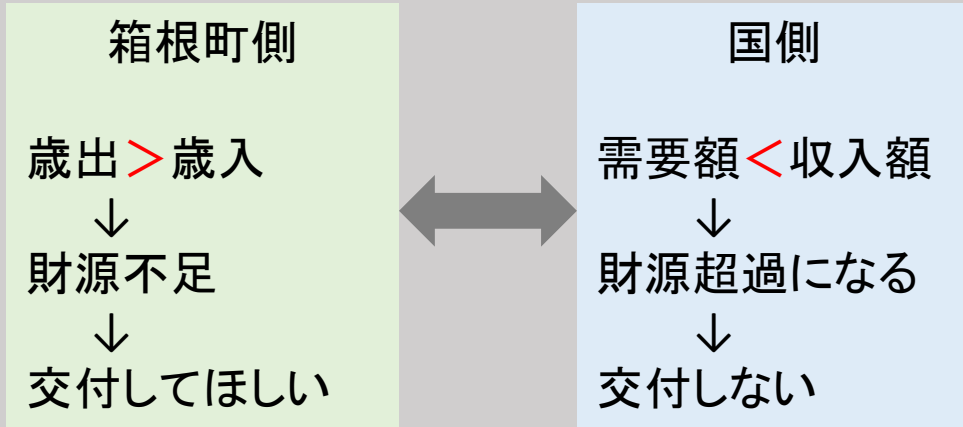
普通交付税とは....

国が定めた標準的なサービスを行うための収入と支出を人口や面積など全国一律の基準をもとに計算する

箱根の場合....

観光客受け入れのための支出はサービス対象外

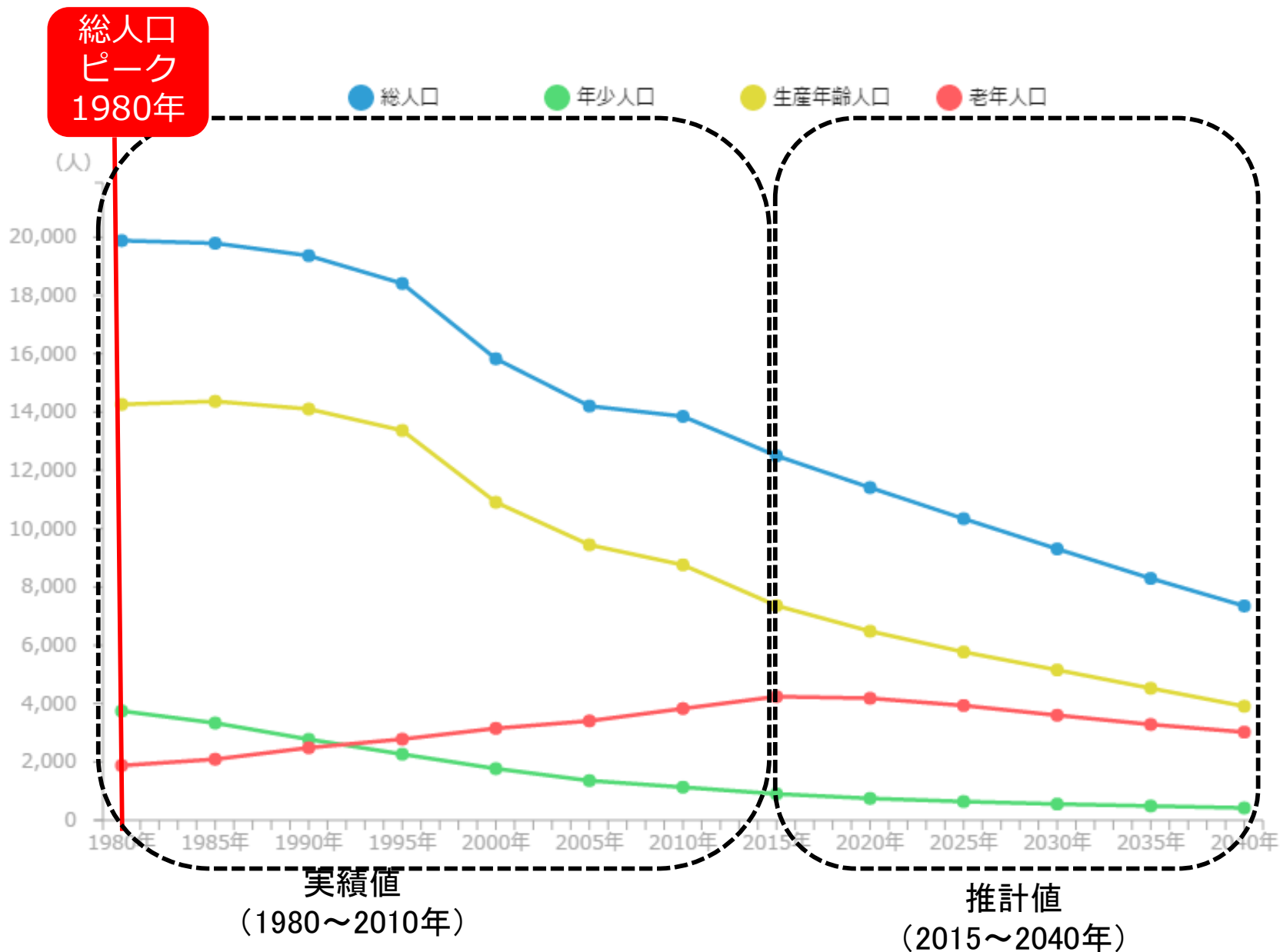
実際の財政と国から見た財政状況が異なる



<http://www.town.hakone.kanagawa.jp/index.cfm/11,4887,c,html/4887/20160427-101557.pdf>より抜粋

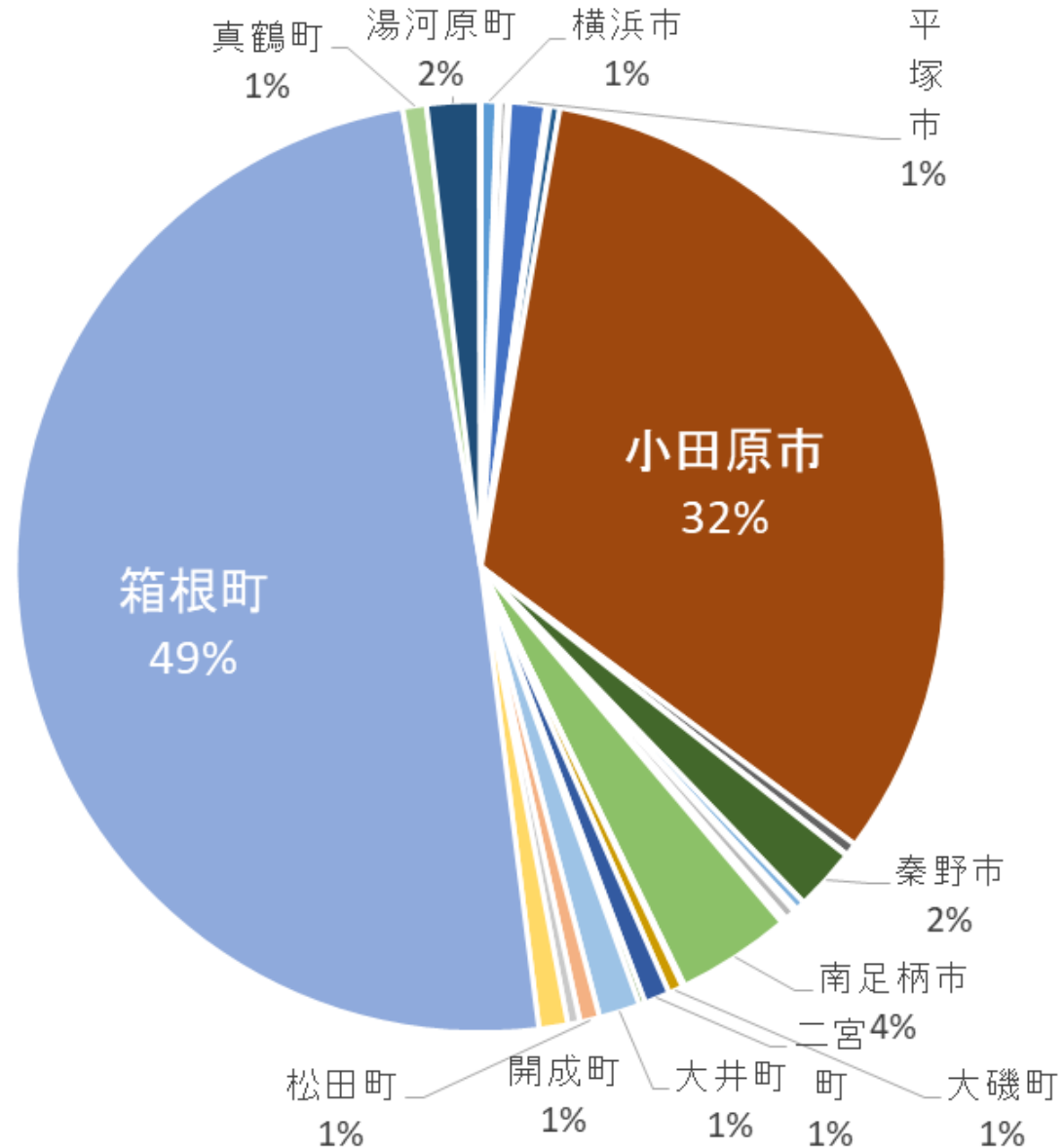


# 域内人口の減少



- 2017年時点の人口 = 推計1.1万人
- 総人口と生産年齢人口は1980年時の約1/2
- 老年人口は2015年まで徐々に増加してその後は横ばい
- 1985年からすでに年少人口は減少傾向

# 国勢調査による箱根町従事者の居住地



近隣地域(特に小田原)からの通勤者が顕著

住民票を移動しないで、住み込みで働いている人も見られる

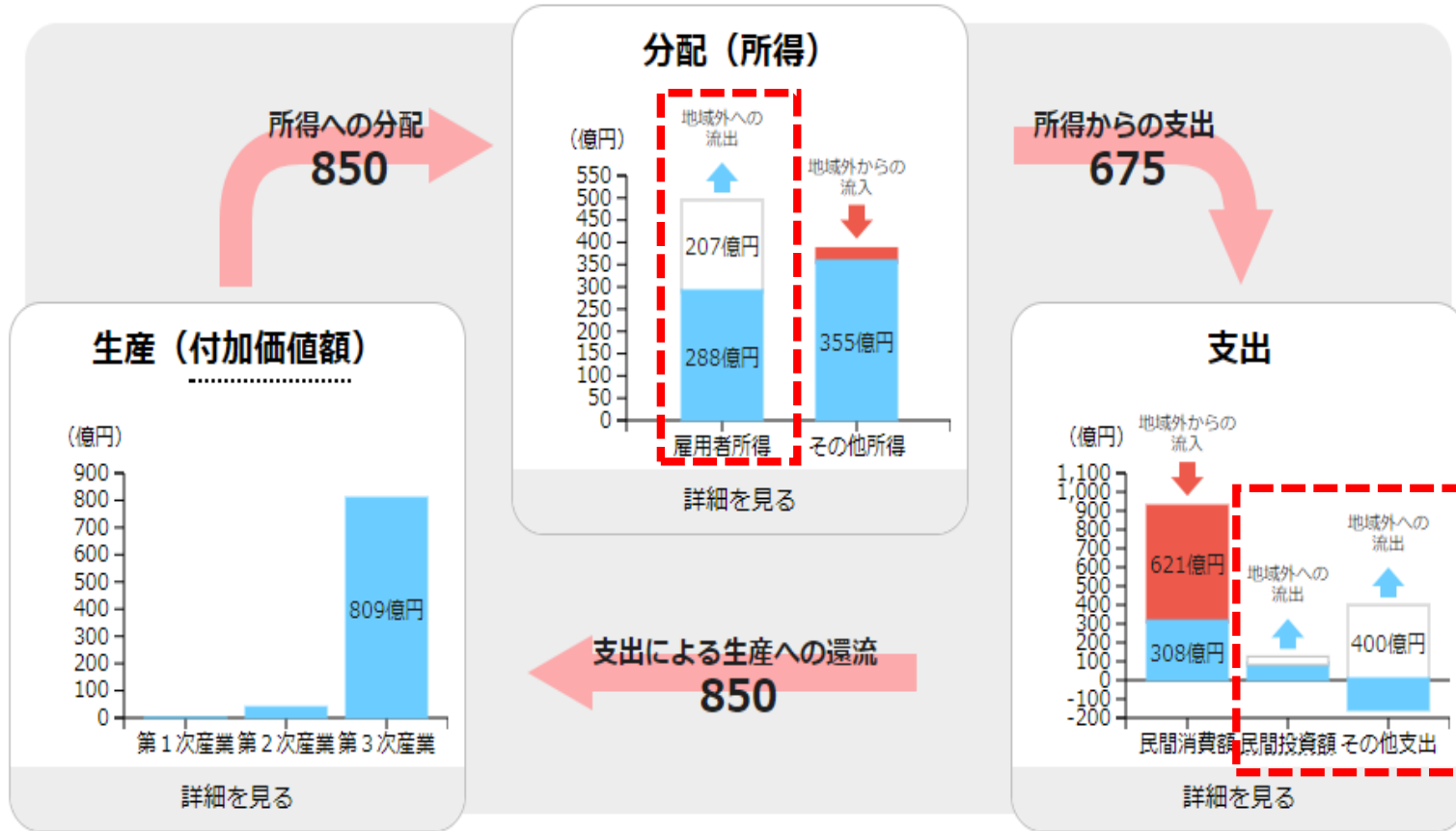
域外労働力依存

# 箱根町の経済循環 **乾** 構造

地域経済循環率  
**126.0%**

地域経済循環図  
**2013年**

指定地域：神奈川県箱根町



一人当たり雇用者所得は352万  
円で**1319位**(1719市区町村中)

箱根で生じた雇用所得の207億  
円(41%)が域外に流出

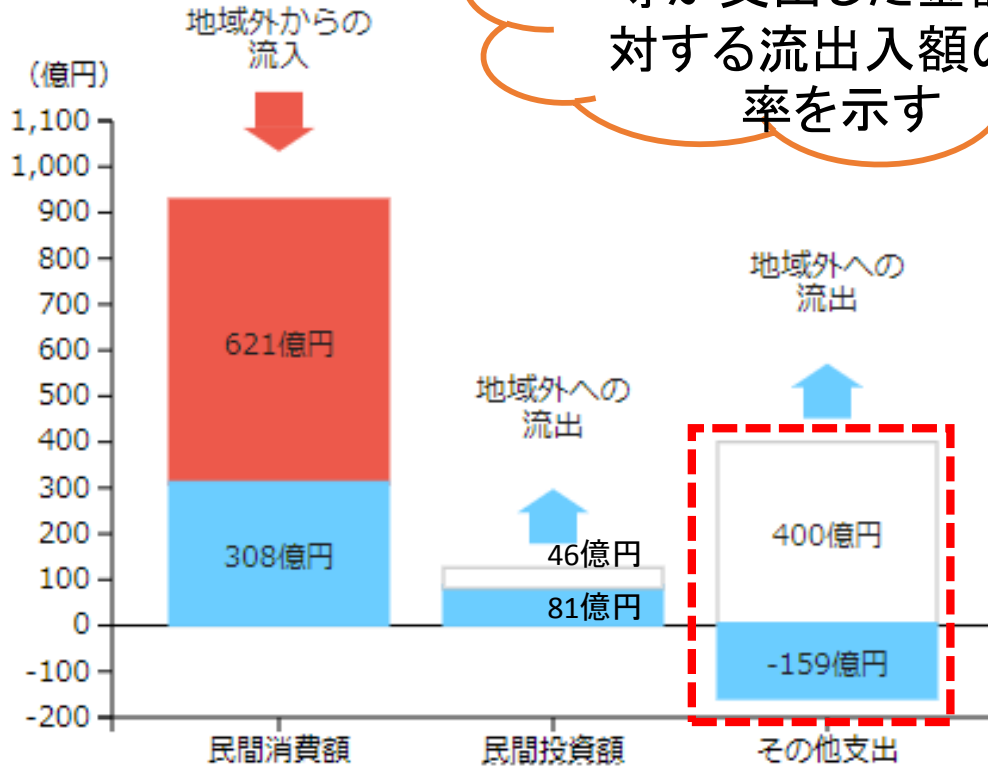
民間投資は127億円だが、その  
36%が域外に流出

生産された850億円のうち、**812  
億円**(207+46+400+159)が  
域外に流出(95%)

# 箱根町の経済循環 **乾** 構造

支出

地域内の住民・企業  
等が支出した金額に  
対する流出入額の比  
率を示す



	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	201.6% <b>流入</b>	-36.1% <b>流出</b>	-166.1% <b>流出</b>
支出流出入率 順位	2位	1,439位	1,689位

- 支出の極端な流出入
  - 域外からの消費が多い(全国上位)
  - 域外への支出が多い(全国下位)
  - **箱根町にお金にとどまらない構造**

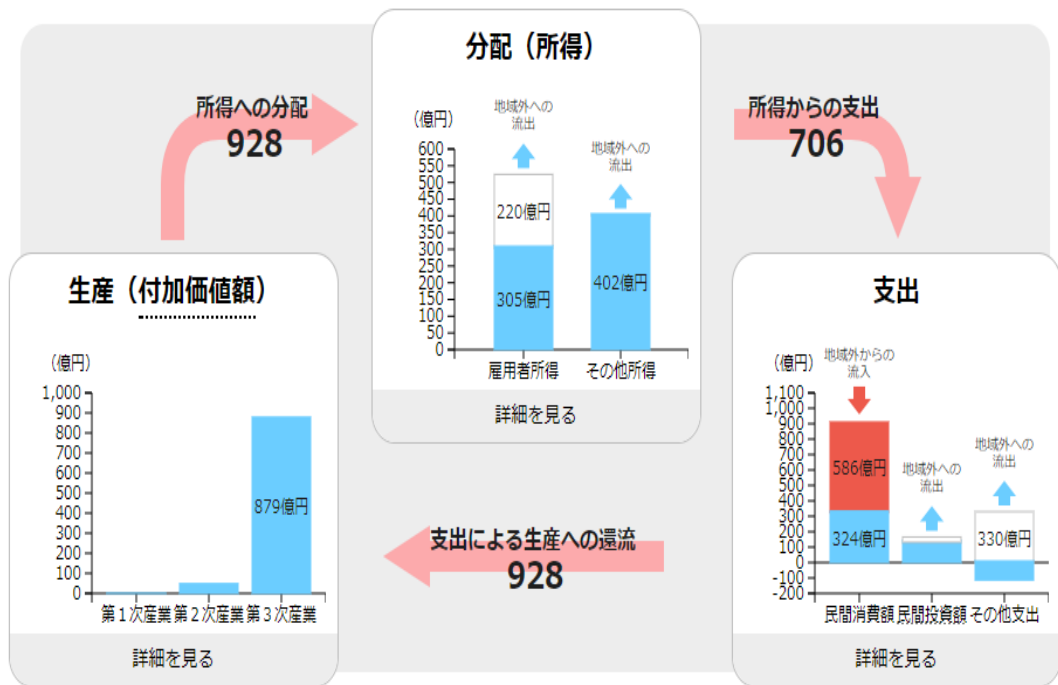
- 「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。
- 移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合(域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合)は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

歳出額以上に大きい域外への所得流出  
→ 400億円 + 159億円 = **559億円**

地域経済循環率  
131.4%

### 地域経済循環図 2010年

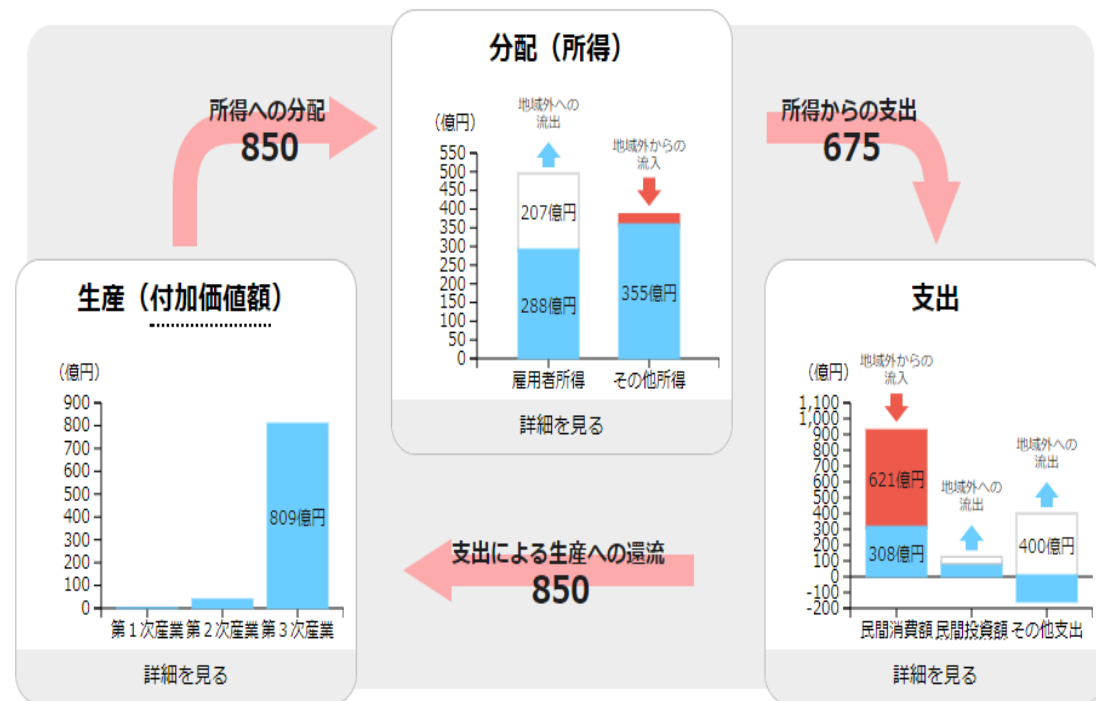
指定地域：神奈川県箱根町



地域経済循環率  
126.0%

### 地域経済循環図 2013年

指定地域：神奈川県箱根町



## • 地元経済の下り坂的变化

□ 生産 (928→850)

□ 分配 (707→643)、流出 (222→207)、流入 (0→32)

□ 支出 (342→230)、流出 (478→559)、流入 (586→621)

□ 地域経済循環率 (131%→126%)

## • 地域経済の弱体化

□ 生産の減少

□ 流入出の増大

# 東京23区の経済循環構造

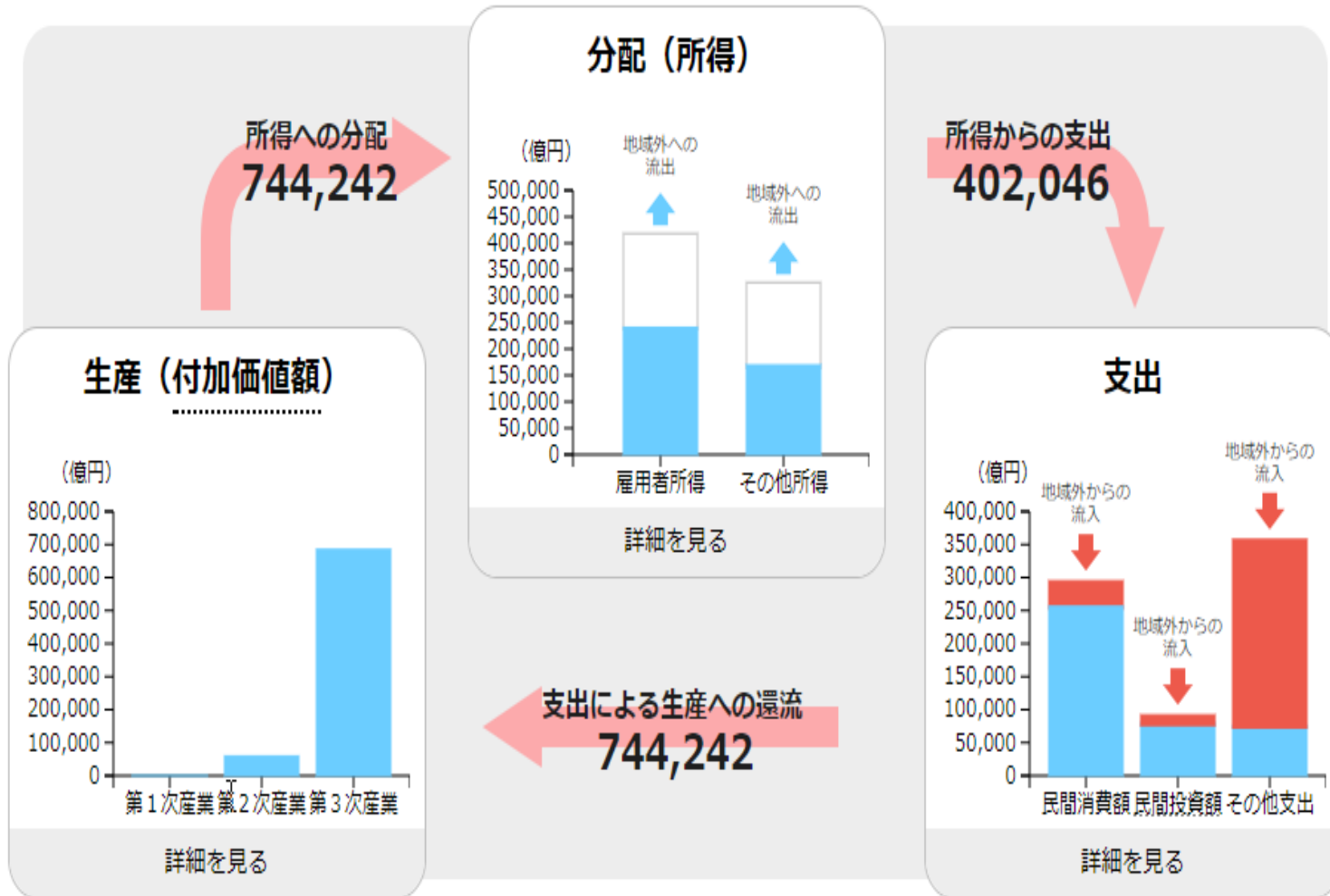
## 地域経済循環図

2013年

地域経済循環率

185.1%

指定地域：東京都特別区（東京23区）



分配（所得）における流出は箱根以上に多く、外からの従業員の多さを示す

支出の各項目は域外からの流入が圧倒的

「その他支出」では、地域内産業の移輸出—移輸入が出超（域外へ販売して、その資金が流入する）を示している

# 横浜市の経済循環構造

地域経済循環率

**78.0%**

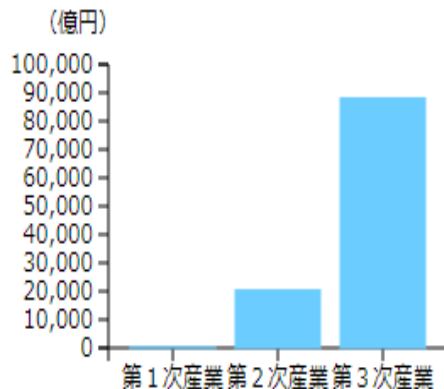
地域経済循環図

2013年

指定地域：神奈川県横浜市

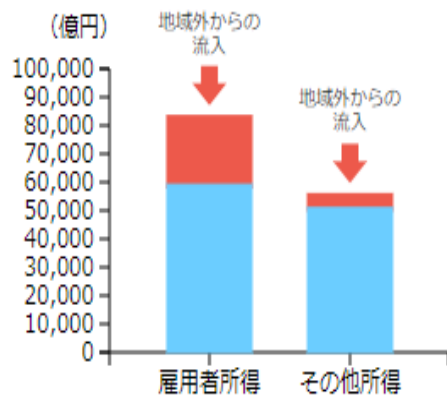
所得への分配  
**108,516**

生産（付加価値額）



詳細を見る

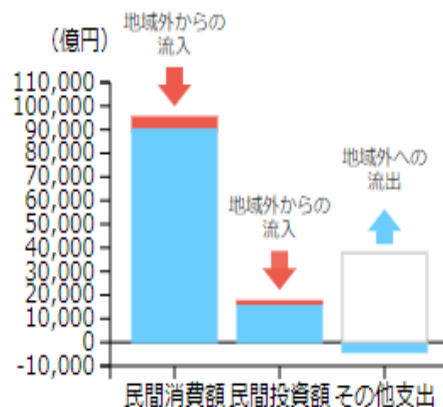
分配（所得）



詳細を見る

所得からの支出  
**139,176**

支出



詳細を見る

支出による生産への還流  
**108,516**

雇用所得は顕著な流入を示す



民間消費はほぼ域内所得からの還流で占められ、域外からの流入は小さい



「その他支出」の流出がやや大きくなってきているが、それでも地元経済内部での支出が多い



# 小田原市の経済循環構造

地域経済循環率

96.7%

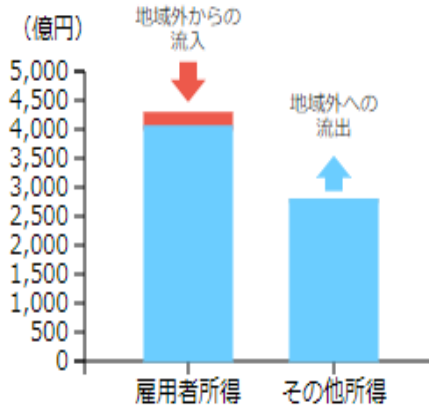
地域経済循環図

2013年

指定地域：神奈川県小田原市

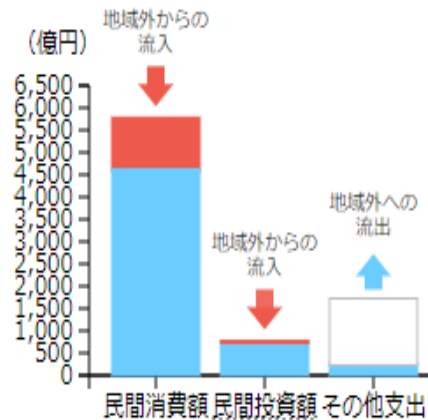
所得への分配  
6,790

分配（所得）

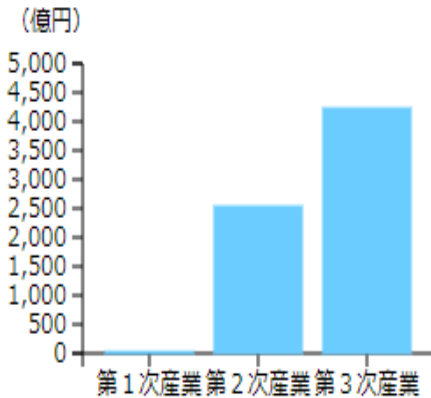


所得からの支出  
7,025

支出



生産（付加価値額）



支出による生産への還流  
6,790

第二次産業による付加価値形成が比較的大きい

分配（所得）は小田原市内にほぼ還流している

「その他支出」は1495億円が域外に流出

所得や支出の流出はあるものの地元経済内部での支出が上回る



# 軽井沢町の経済循環構造

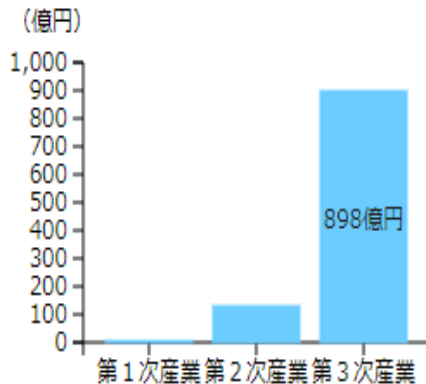
地域経済循環率  
**128.6%**

## 地域経済循環図 2013年

指定地域：長野県軽井沢町

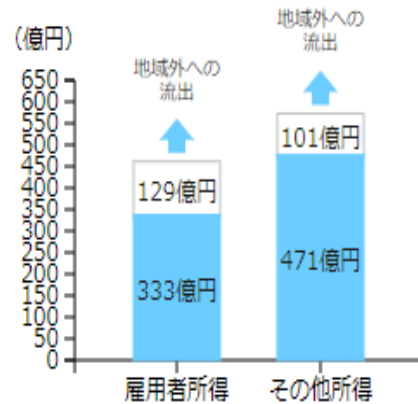
所得への分配  
**1,034**

### 生産（付加価値額）



詳細を見る

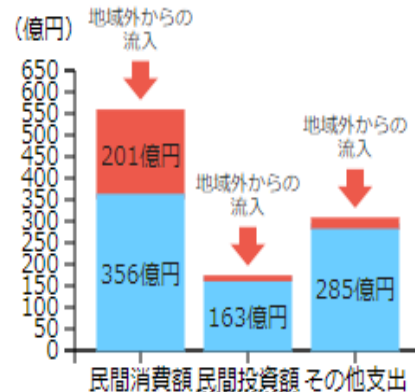
### 分配（所得）



詳細を見る

所得からの支出  
**804**

### 支出



詳細を見る

支出による生産への還流  
**1,034**

雇用者所得、その他所得共に  
域外流出が比較的大きい

民間消費は箱根ほどではないが、  
域外からの消費が貢献している

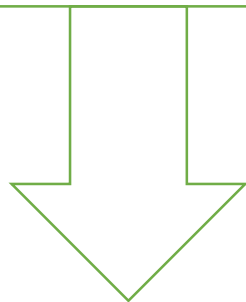
その他支出は箱根とは対照的に  
流入がみられる

循環構造と循環率の高さが相  
関している

# 問題点の整理と対応

## 問題①

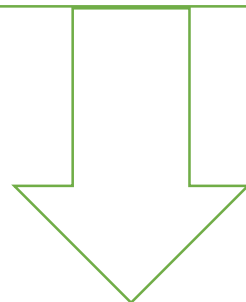
居住人口の減少



定住人口の確保  
住みやすい地域づくり  
箱根ならではのライフスタイル

## 問題②

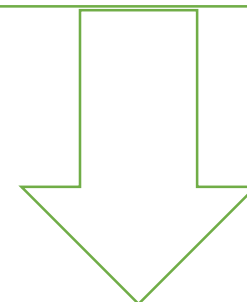
雇用所得の域外  
流出



定住人口の確保  
住みやすい地域づくり  
箱根ならではのライフスタイル

## 問題③

支出の域外流出  
が多い経済構造



経済的漏出の防止  
地域経済の循環  
資金還流

# 地域からの経済漏出 (中村2014)

## ①付加価値の漏出

- 各産業で生み出された付加価値が域内で循環せずに域外に漏れること
- 地方工場から本社への所得還流、域外通勤者への所得分配

## ②消費支出における漏出

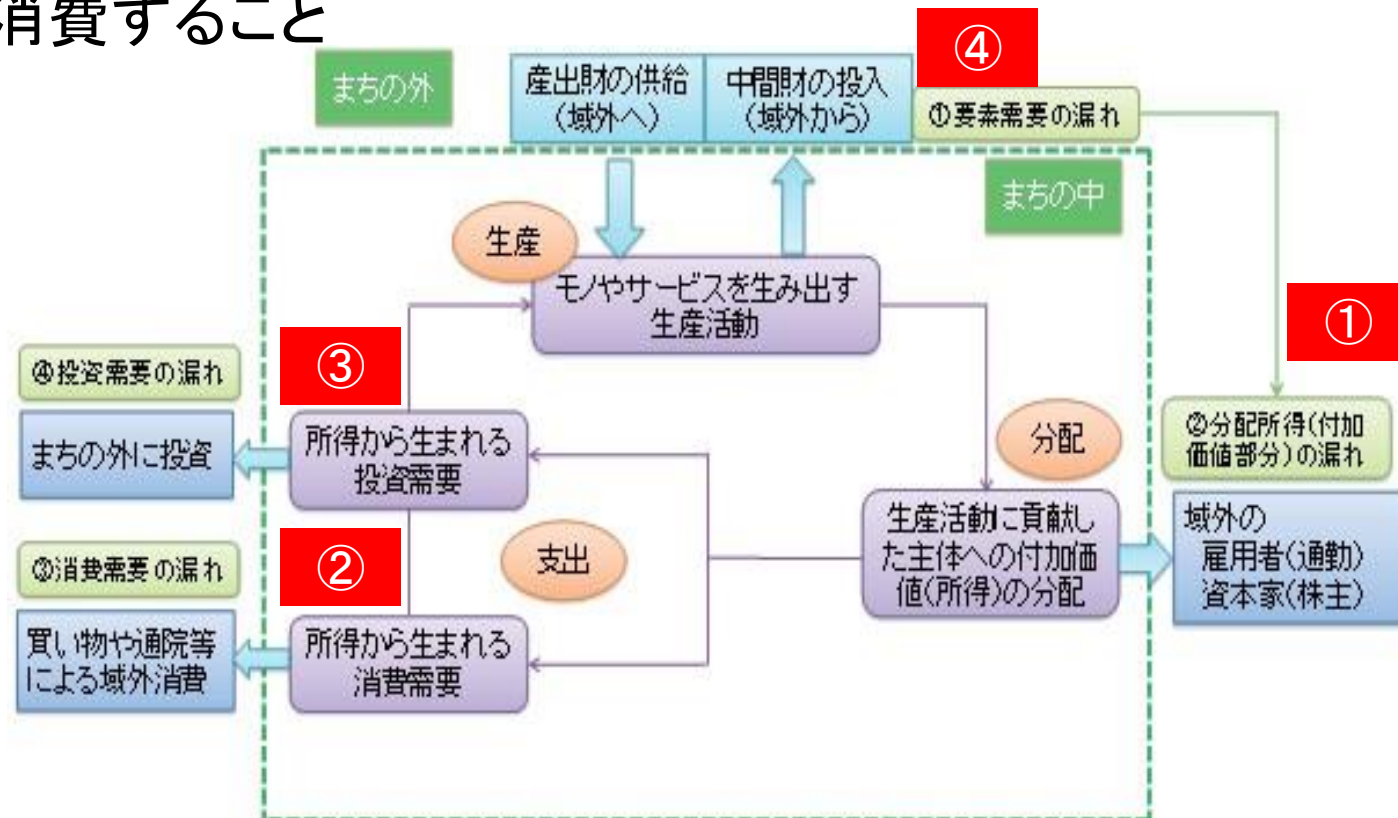
- 域内住民が得た所得を域外で消費すること

## ③投資支出における漏出

- 個人や企業の貯蓄を原資とした金融機関の投資が有価証券・国債・東京コール市場での運用へ回されること

## ④要素需要の漏出 (中村2015)

- モノやサービスを生み出す生産活動における域外からの中間財購入のこと

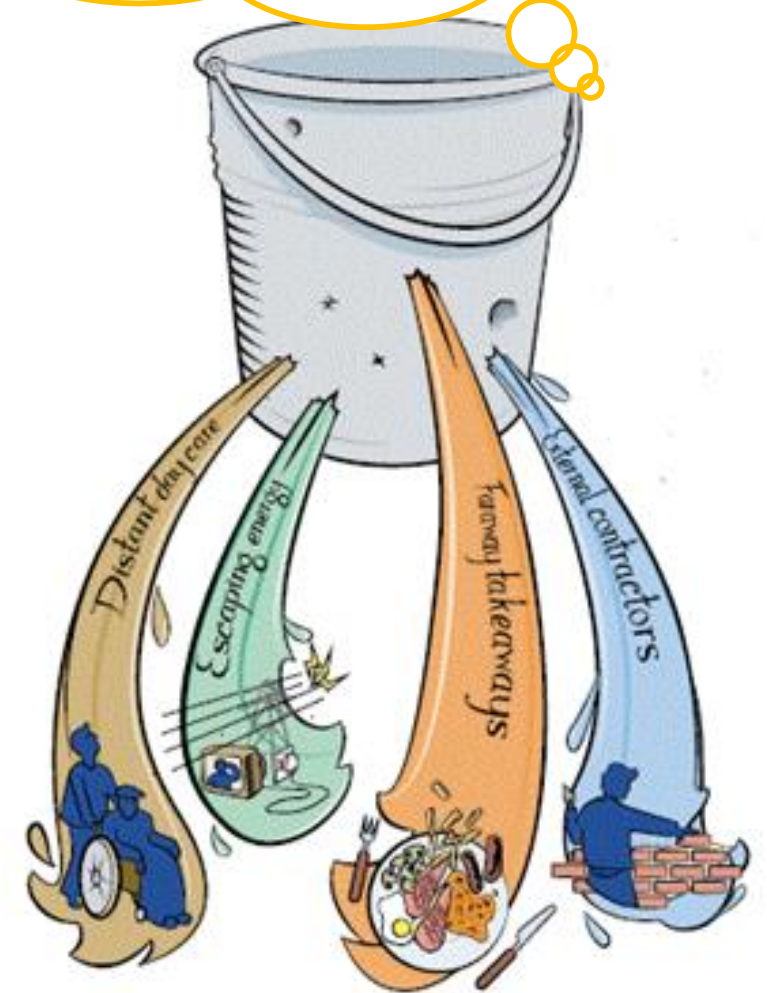


出所: 中村(2015)

# 漏出阻止と循環構築

- 地域経済の不均衡発展 (岡田ほか2010)
  - 企業活動・政策の国際化、構造改革の影響
  - 法人所得の東京集中
  - 地域内で資金が蓄積、循環しない構造による地域経済の衰退
- 海外でも地域経済の疲弊は同様の傾向
  - イギリス: 地域内乗数効果の概念 (New Economic Foundation 2002)
    - 地域から資金が容易に流出しないように資金の回転を高める
  - アメリカ: 漏損分析 (Shuman 2006)
    - 大企業誘致よりも、地域経済からの漏損を防ぐことが重要

「稼ぐ」ことも大事だけれど、地域から域外への経済的な漏出を防ぐことが見落とされてきた



# 2つの地域経済循環

- **地域の経済循環** (中村2014、2015)

- 生産・分配・支出の三面等価 → 地域経済の漏れ = **三面非等価**
- ある地域を起点する **域内外の資金の出入り** を「循環」として捉える
- **地域をめぐる資金移動** の把握



- **地域経済の循環** (岡田2005、2010)

- **地域内再投資力**

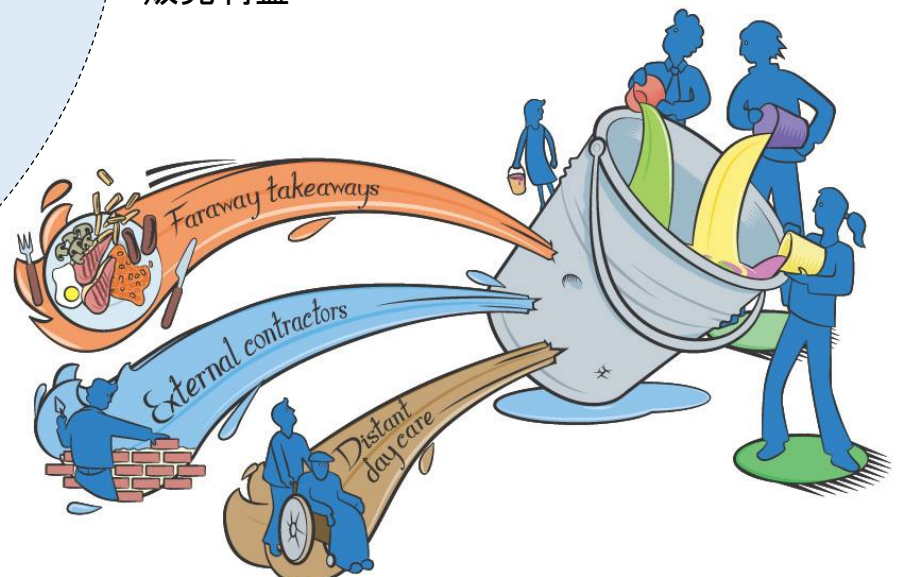
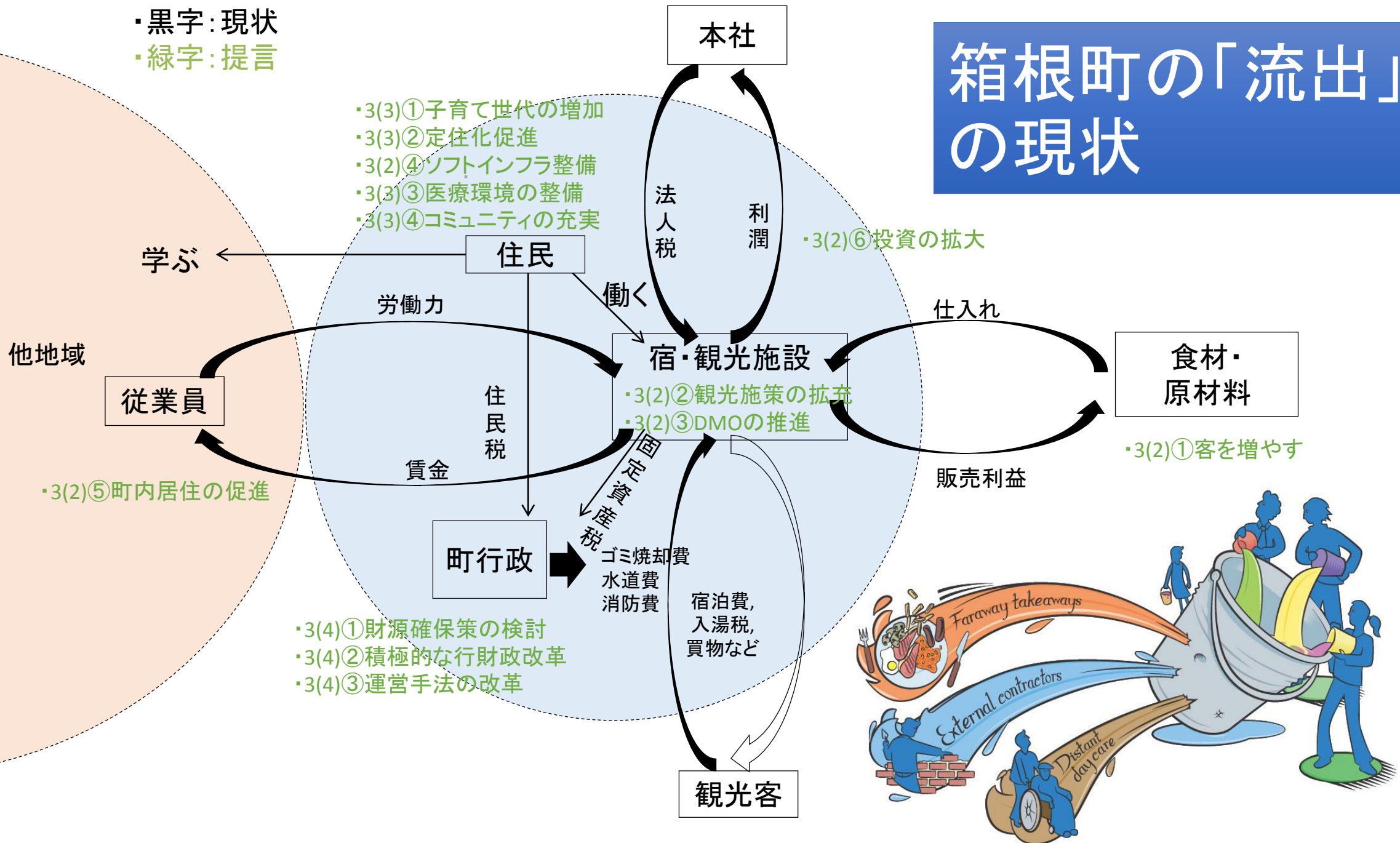
- 住民が地域に暮らし続けていくには、持続的な産業活動による雇用と所得の再生産が必要になる
- 企業、農林漁業者、地域金融機関、自治体を経済主体と捉え、地域内で繰り返し再投資を行い、生活と自然環境を維持していく
- **域内外の主体間での取引 + 次期への再投資** を「循環」として捉える
- 主体に即した地域経済の漏れを防ぐための方策





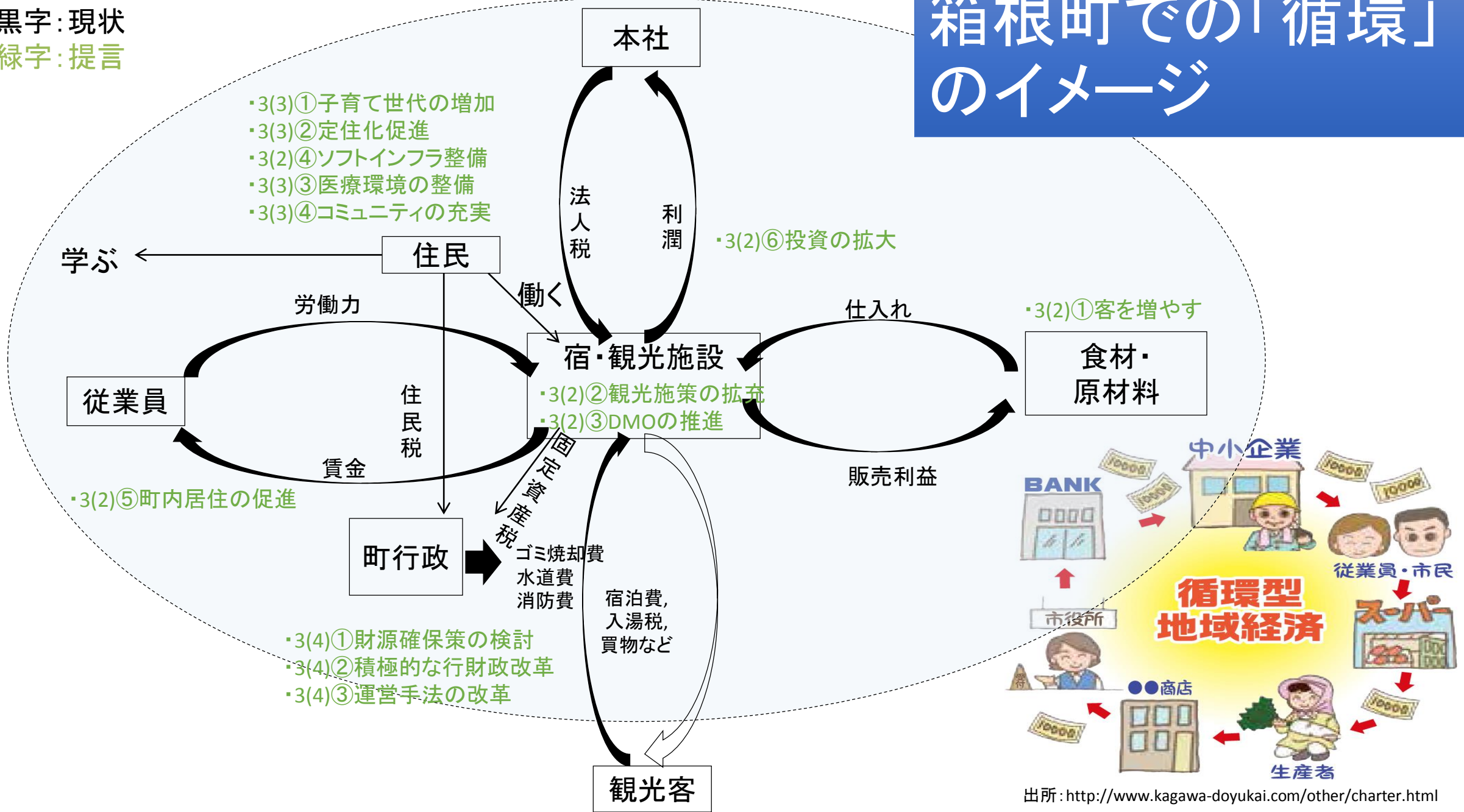
# 箱根町の「流出」の現状

・黒字: 現状  
 ・緑字: 提言



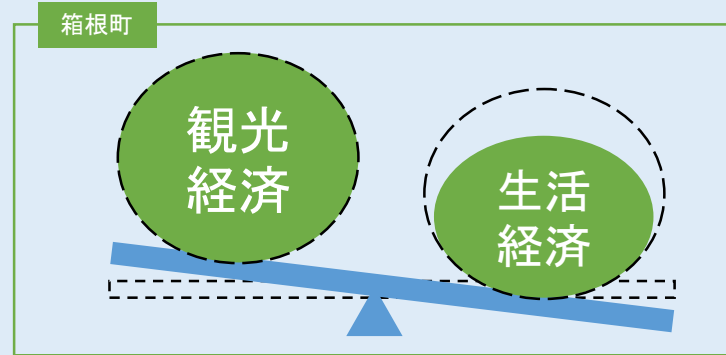
# 箱根町での「循環」のイメージ

・黒字:現状  
 ・緑字:提言



# おわりに

## 箱根経済の二重構造



## 問題の所在

- ① 居住人口の減少
- ② 雇用所得の域外流出
- ③ 支出の域外流出が多い経済構造

定住人口の確保

+

流出の少ない経済



何ができるだろうか？



# 参考文献

- 福士正博（2005）「地域内乗数効果（local multiplier effect）概念の可能性」『東京経大 学会誌』241、pp.205-225.
- 中村良平（2014）『まちづくり構造改革』日本加除出版株式会社。
- 中村良平（2015）「地方創生に求められる地域経済構造分析」『土地総合研究』23（3）、pp.72-85。
- New Economic Foundation（2002） *The Money Trail*.
- 岡田知弘（2005）『地域づくりの経済学入門』自治体研究社。
- 岡田知弘・高野祐次・渡辺純夫・西尾栄一・川西洋史（2010）『中小企業振興条例で地域をつくる』自治体研究社。
- Shuman, Michael H. (2006) *The Small-mart Revolution: How Local Businesses and Beating the Global Competition*, Berrett-Koehler Publisher, Inc（マイケル・シューマン（2013）『スモールマート革命』明石書店）。

